

発行所  
 こおご保雄事務所  
 〒260-0017 千葉市中央区要町5-6  
 TEL043-221-1288/FAX043-221-5422

発行責任者  
 鈴木与市

# こおご保雄市議ニュース

## 財政健全化目標を数値で示すべき

# 公債費比率は25%超へ上昇が

全国最年少市長を迎えて、千葉市も大きく変わろうとしています。「市民の生かせる市政へ」を掲げて、市議会に登場した中央区の向後保雄(こおご・やすお)市議は、六月定例会で再び一般質問に登壇しました。

今回は、逼迫する市の財政問題を中心に取り上げ、熊谷新市長は、借金返済に相当する実質公債費比率が、早期健全化の基準である25%を超える恐れのあることを明らかにしました。待機児童対策と幼児児童間の補助格差問題など、向後市議の主な質疑を特集しました。



議場へ登壇し、一般質問する向後保雄市議

### 6月千葉市議会一般質問特集

**向後議員** 千葉市の十九年度決算における健全化判断比率は、実質公債費比率が19・6%で、政令中ワースト2位です。熊谷市長のマニフェストによれば、モノレールの延伸中止など事業の見直しによって二百億円のカット、徹底した行財政改革の実施で年間六十億円をカットし、四年間で合計二百四十億円カット、縮めて四百四十億円の歳出削減を掲げています。財政健全化への問題意識は共通であり、全く異論はありません。

### 4年毎に支給する市長の退職金廃止求め

**向後議員** 現状の経済危機の中では、実質公債費比率が早期健全化団体となる25%を超えてしまうかもしれません。それほど千葉市の財政が厳しい状況にあることを市民にも理解してもらわなければ、財政健全化はできませんが、市長の正直な所見はどうでしょうか。

**熊谷市長** 財政状況の認識ですが、このままでは実質公債費比率が、早期健全化基準である25%を超える恐れもあるのではないかと考えております。

**向後議員** 市長の給与の減額措置は二年間で元に戻し、退職金を現行の50%減額とするつもりか。また、市民感覚とかけ離れた四年毎に支給する市長の退職金をゼロにする考えはないか。

**熊谷市長** 給与の減額期間は、今後の財政状況や社会経済情勢の動向を踏まえる必要があるので、二年間としたもので、

のを、いかに抑えていくかが、私に与えられた大きな課題だと考えています。

従って、マニフェストに掲げた事業の見直しにより、少しでも指標の低減に努めていきますが、具体的な目標数値については、今後見直しを行う中で、来年三月までに策定・公表する新たな財政健全化プランの中で示していきたいと考えています。

退職手当の積算根拠となる給料月額額は、給与の減額措置に関わらず、本則の額を基とするものです。退職手当の支給は、地方自治法で市長を含めた常勤職員に支給することが認められたものであり、市長といえども一定の経済的保証は必要だと考えています。

### こおご保雄プロフィール

- 昭和33年生まれ
- 市立千葉高校卒業
- 横浜市立大学商学部卒業
- 税理士
- 市議会 都市消防委員会副委員長
- 千葉市 都市整備公社評議員





# 花の都・ちは 花のあふれるまちづくりは継続

## 中央区特集

### 『花の都』との整合性を問う

#### 6月千葉市議会一般質問

**熊谷市長** 「花の都・ちは」は、温暖な気候で、一年を通じて四季折々の花を楽しむことのできる本市の自然環境を一つの特徴と捉え、市民とともに花をテーマにしたまちづくりを進めることによる、都市イメージの確立を目指すものです。

一方、「科学の都」は、京葉工業地域における企業や放医研・大学などの学術研究機関の立地、さらには科学館のオープンなどにより、科学に関連する施設が数多く存在するという、花とは別の観点からの特徴を活かそうとするものです。

具体的な展開については、今後、プロジェクトチームで検討することにしていきますが、「花」も「科学」もそれぞれ本市の特徴を活かす取り組みだと考えています。

**向後議員** 今後も「花の都・ちは」を目指して、四百三十四団体に支えられた

**熊谷市長** 「花の都・ちは」は、温暖な気候で、一年を通じて四季折々の花を楽しむことのできる本市の自然環境を一つの特徴と捉え、市民とともに花をテーマにしたまちづくりを進めることによる、都市イメージの確立を目指すものです。

一方、「科学の都」は、京葉工業地域における企業や放医研・大学などの学術研究機関の立地、さらには科学館のオープンなどにより、科学に関連する施設が数多く存在するという、花とは別の観点からの特徴を活かそうとするものです。

具体的な展開については、今後、プロジェクトチームで検討することにしていきますが、「花」も「科学」もそれぞれ本市の特徴を活かす取り組みだと考えています。

**向後議員** 今後も「花の都・ちは」を目指して、四百三十四団体に支えられた

### 市内の待機児童は359人

**向後議員** 社会で活躍する才能ある働く女性が増え、いまや男女共同参画推進が当たり前の時代において、女性の社会参加は時代の要請であり、今後も拡大していくことと予想されます。しかし、市の保育所や認可保育所に入所できないため、保育ルームや認可外の託児所に子どもを預けると、毎月十数万円以上かかる例もあるなど、大したことでないか、六月一日現在で、本市に待機児童は何人いるでしょうか。

**保健福祉局長** 昨今の経済状況の影響などにより、働く女性が増え、保育所入所申し込みが増加しましたが、「緊急三カ年整備計画」の初年度整備として、平成二十一年四月に六園が開園するなど、受け入れ枠を拡大したことで、六月一日現在、三百五十九人と、前年と比べ五十七人減少しています。

**向後議員** 保育ルームに対する助成金はどうなっているのか。

**保健福祉局長** 基本助成として、三歳未満児一人当たり月額四万四千円、三歳以上児二万四千円を助成しているほか、第二子以降の保育料の軽減や健康診断費などを助成しており、決算総額では、平成二十年度は四億三千七百万円となっています。



「花の都・ちは」推進で活動する向後市議(中央)

**熊谷市長** 「花の都・ちは」は、温暖な気候で、一年を通じて四季折々の花を楽しむことのできる本市の自然環境を一つの特徴と捉え、市民とともに花をテーマにしたまちづくりを進めることによる、都市イメージの確立を目指すものです。

一方、「科学の都」は、京葉工業地域における企業や放医研・大学などの学術研究機関の立地、さらには科学館のオープンなどにより、科学に関連する施設が数多く存在するという、花とは別の観点からの特徴を活かそうとするものです。

具体的な展開については、今後、プロジェクトチームで検討することにしていきますが、「花」も「科学」もそれぞれ本市の特徴を活かす取り組みだと考えています。

**向後議員** 今後も「花の都・ちは」を目指して、四百三十四団体に支えられた

**熊谷市長** 「花の都・ちは」は、温暖な気候で、一年を通じて四季折々の花を楽しむことのできる本市の自然環境を一つの特徴と捉え、市民とともに花をテーマにしたまちづくりを進めることによる、都市イメージの確立を目指すものです。

一方、「科学の都」は、京葉工業地域における企業や放医研・大学などの学術研究機関の立地、さらには科学館のオープンなどにより、科学に関連する施設が数多く存在するという、花とは別の観点からの特徴を活かそうとするものです。

具体的な展開については、今後、プロジェクトチームで検討することにしていきますが、「花」も「科学」もそれぞれ本市の特徴を活かす取り組みだと考えています。

**向後議員** 今後も「花の都・ちは」を目指して、四百三十四団体に支えられた

### 幼保格差問題

**向後議員** 保育所、保育ルーム在籍児童と幼稚園児に対する一人当たりの助成額に違いがあることについて、市長はどう考えるのか。

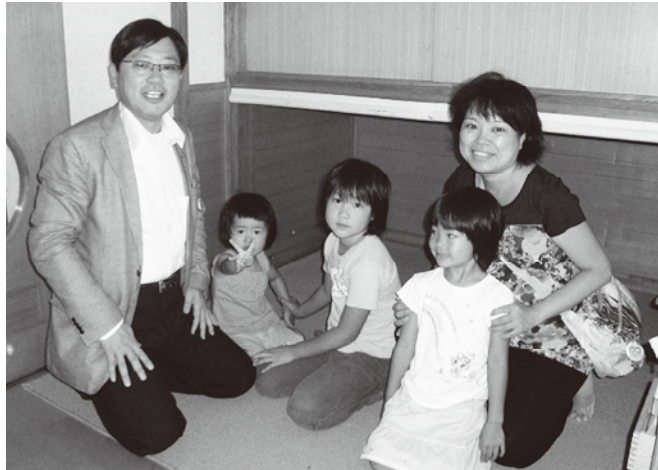
**熊谷市長** 両施設は、施設の性格をはじめ、対象児開設日数、保育時間等のサービス内容、また運営に係る財源などが異なっており、比較することは困難であると考えています。

現在、国では保育所及び幼稚園について、保護者の負担軽減や「無償化」の方向が示

**向後議員** 保育所、保育ルーム在籍児童と幼稚園児に対する一人当たりの助成額に違いがあることについて、市長はどう考えるのか。

**熊谷市長** 両施設は、施設の性格をはじめ、対象児開設日数、保育時間等のサービス内容、また運営に係る財源などが異なっており、比較することは困難であると考えています。

現在、国では保育所及び幼稚園について、保護者の負担軽減や「無償化」の方向が示



幼保格差問題で保護者と語る向後市議

**熊谷市長** 「花の都・ちは」は、温暖な気候で、一年を通じて四季折々の花を楽しむことのできる本市の自然環境を一つの特徴と捉え、市民とともに花をテーマにしたまちづくりを進めることによる、都市イメージの確立を目指すものです。

一方、「科学の都」は、京葉工業地域における企業や放医研・大学などの学術研究機関の立地、さらには科学館のオープンなどにより、科学に関連する施設が数多く存在するという、花とは別の観点からの特徴を活かそうとするものです。

具体的な展開については、今後、プロジェクトチームで検討することにしていきますが、「花」も「科学」もそれぞれ本市の特徴を活かす取り組みだと考えています。

**向後議員** 今後も「花の都・ちは」を目指して、四百三十四団体に支えられた

### 社協、ヘルパー派遣から撤退

**熊谷市長** 「花の都・ちは」は、温暖な気候で、一年を通じて四季折々の花を楽しむことのできる本市の自然環境を一つの特徴と捉え、市民とともに花をテーマにしたまちづくりを進めることによる、都市イメージの確立を目指すものです。

一方、「科学の都」は、京葉工業地域における企業や放医研・大学などの学術研究機関の立地、さらには科学館のオープンなどにより、科学に関連する施設が数多く存在するという、花とは別の観点からの特徴を活かそうとするものです。

具体的な展開については、今後、プロジェクトチームで検討することにしていきますが、「花」も「科学」もそれぞれ本市の特徴を活かす取り組みだと考えています。

**向後議員** 今後も「花の都・ちは」を目指して、四百三十四団体に支えられた

**向後議員** 社会福祉協議会の障害者ヘルパー派遣事業からの撤退は、今まで福祉サービスを受けてきた利用者にとって、大きな打撃になります。障害者福祉サービスと地域生活支援は、民間に移行するのは困難だと予測していますので、もし民間に移行することができなかつた場合、本市の援助で社協に対応していただきたいと思います。

**熊谷市長** マニフェストに「不足する介護人材を確保」が掲げられており、市としては、現在の利用者の方々の移行先が確保されることなどを前提として、社協のヘルパーなどの方々の雇用の確保に努めていただくことが必要だと考えています。

**向後議員** 福祉・介護業界の人材の離職率をみると、最近の動向はどうか。

**保健福祉局長** 平成十九年度では、千葉・市原地域の離職率は、正規社員が20・3%、非正規社員が33・2%となっており、全国では正規社員が20・0%、非正規社員が22・8%となっています。

されておられ、こうした国の動向や検討状況などを注視しながら、ご指摘の趣旨も踏まえ、子育て支援や幼児教育の充実に向け、さらに検討してまいります。

**向後議員** 社協の撤退について市長の見解を求めます。

**熊谷市長** 私も、六月二十五日に障害者の方々などで構成されるヘルパー事業等の存続を求める会の皆様から、事業継続のための市の支援などについて、お願いを受けたところです。

社協では、介護報酬の引き下げなどにより事業継続が困難になったことから、利用者には他の事業者に移っていただくことにより、本年度末をもって、事業を廃止することとしています。

社協の経営改善も重要な課題であり、市としては、現在の利用者の方々の移行先が確保されることなどを前提として、社協のヘルパーなどの方々の雇用の確保に努めていただくことが必要だと考えています。

**向後議員** 福祉・介護業界の人材の離職率をみると、最近の動向はどうか。

**保健福祉局長** 平成十九年度では、千葉・市原地域の離職率は、正規社員が20・3%、非正規社員が33・2%となっており、全国では正規社員が20・0%、非正規社員が22・8%となっています。



千葉市視覚障害者協会会長から直接説明を聞く向後市議

安心・安全なまちづくり

向後やすお

# こおご保雄市議

**向後議員** 離職率が全国に比べ高く、これではせっかく税金を使って取ったヘルパー二級の資格が生かされません。福祉人材の待遇改善のための千葉市独自の施策を実施し、離職率を低くする事が重要です。